

令和元年度 第4回会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和2年3月24日（火） 15：00～17：00
場所：生涯学習総合センター（會津稽古堂）研修室2

1 開会（司会：観光商工部商工課 馬場主幹）

2 協議

- ・青木准教授が座長となり進行
- ・直近の話題等について情報交換した後、次年度の未来会議の方針について協議

（発言要旨）

【新型コロナウイルス感染症による影響について】

- ・現段階では、中国からの材料を使用している場合や、国外との取引をメインとしている企業は資材入荷が停滞する、売上げが落ち込むなどの影響を受けている。市内飲食店や商店街の小売業などは今のところ大きな影響は出ていないと聞いている。
- ・今後、各企業において影響が出てくる可能性があり、その場合、中小企業は資金繰りに苦慮する可能性がある。
- ・商工会議所、商工会においても、企業支援を行っていく。

【次年度の未来会議について】

- ・コアメンバー現行メンバーで継続していきたい。しかしながら人事異動等によりメンバーの変更も想定される。現行メンバーの参加が困難になった場合には、その都度確認していく。
- ・今年度の開催結果を踏まえ、次年度も年4回程度開催を予定する。

【次年度の新たな取組について】

- ・今年度の会議の中で話し合ってきたとおり、次年度は次の2つの事業を新たに実施していく。

①高等学校と連携した「会津プロジェクト教育」

目的：高校生が地域の中小・小規模企業、人、仕事を知ること、高校生の地域に対する感性・熱量向上を図り、地域への定着・Uターン率向上を目指す。

目標：高校生が自ら感じ、考えた地域における取組（ビジネスプラン）の提案

内容・地域中小・小規模企業における企業体験や従業員との意見交換

- ・地域課題解決（地域の特色を活用）するための取組を中小・小規模企業者と検討

②中小・小規模企業経営者・従業員の勉強会・交流会

目的：地域の中小・小規模企業で働く人（経営者・従業員）の元気な成長を図り、人のつながりの強化・拡大や新たなビジネスモデルの創出に寄与する。

目標：勉強会・交流会で得たつながり、アイデア、体験が生かされ、地域の目玉となるような新たなビジネスが創出される。

内容・地域の経済団体との共催

- ・年1、2回を想定
- ・講演を聞いて終わりという形ではその後につながらない可能性が高いため、参加メンバーによるディスカッション等フィードバックの機会を設ける。

令和元年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

所属・企業名		役職	氏名（敬称略）	備考	第4回 出欠
会津大学短期大学部 産業情報学科		准教授	青木 孝弘		出
中小・ 小規模 企業者	松浦商事 株式会社	代表取締役専務	松浦 健典	会津若松商工会議所 推薦	欠
	渡部電気工事店		渡部 由美子	あいづ商工会 推薦	欠
	株式会社 三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津地区 推薦	出
	TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	出
支援 機関	会津若松商工会議所	中小企業相談所長	長谷川 剛		欠
	あいづ商工会	事務局長	福島 正博		出
	福島県中小企業団体中央会 会津事務所	専門指導員	江川 佳伸		出
	会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		出
	会津商工信用組合	営業統括部部長	武田 義幸		出
会津若松市観光商工部商工課		課長	長谷川 陽一		出